

美合小学校の評価規準例

かがやきタイムでめざす子供像

- ・自ら課題を見つけ、粘り強く最後まで追究し、よりよく解決していくことができる子
- ・探究活動に主体的、協同的に取り組むことができる子
- ・主体的に学ぶことの楽しさを知り、ものの考え方や学び方を身につけていける子
- ・自分の今までの生活を見つめ直したり、自己の生き方について考えたりしていける子

各教科との関連

・総合学習と各教科の学びの響き合いを追究する。

〈国語〉読む、書く、話す力

〈社会〉郷土の地理や歴史の理解、資料を読み取る力

〈算数〉数量や図形の知識理解

〈理科〉自然事象への理解

〈音楽〉音楽的な表現力

〈図工〉造形的な表現力

〈家庭〉衣食住への知識技能

〈体育〉健康安全への知識・理解

〈道徳〉公衆道徳、モラル

〈特活〉自立する力、実践力

かがやきタイムで育てたい力

	3・4年生	5・6年生
みつける・みとおす力	・様々な体験活動を通して、自分の疑問や関心をとらえ、疑問点や問題点を見つけることができる。	・自分の疑問や関心から問題を見つけ、問題を解決する見通しをもったり、計価格を立てたりできる。 ・次の活動への思いや願いをもつことができる。また、次への新たな課題をもつことができる。
かかわる力	・様々な事象、人と積極的にかかわろうとする。	・自らの思いをもとに、友達と意見交換をしたり、学区の方やゲストティーチャーの方たちと、協同的に学んでいくことができる。
しらべ・まとめる力	・自分の興味・関心のあることを積極的に調べることができる。 ・絵や文、図や表、地図などに調べたことや分かったことを表すことができる。	・さまざまな資料や人とかかわりながら調べることができる。 ・調べたことを絵や文、図や表、地図などで表わすことができる。 ・コンピューターを使って記録することができる。
つたえ・いかす力	・調べたことや分かったことや自分の思いを学校や家庭の中で発信したり実践したり、伝えたりすることができる。	・事象とのかかわりの楽しさや活動への自信、自分自身の成長について振り返りながら表現できる。

家庭・地域との連携

○地域から学ぶ

- ・地域の自然環境の教材化
- ・地域の文化財の教材化
- ・地域の人材の活用

○地域で学ぶ

- ・地域での校外学習
- ・地域から学ぶ場面の設定

○ボランティア・ティーチャーの活用

- ・講師リストを作り必要に応じて活用

○スクール・サポーターの活用

- ・協力者リストを作り学習支援に活用

○幼・保・小・中の連携活動

- ・幼・保情報交換会
- ・岡保育園交流会
- ・小・中連絡・研修会

○O C 美合・美川

○家庭・地域への発信

- ・学校参観週間
- ・生活総合授業公開
- ・各種学校通信
- ・ホームページ

生活科との関連

・自分のしたいことを見つけることができる。

・家の人や身近な人から聞き取りをすることができる。

・調べたことや分かったことを絵や文に表すことができる。

・学習したことを自分で確かめたり、生活の中で活かしたりできる。

年間活動計画(案)

	学年別分野	活動内容例	環境分野
3	自然・命	大豆の栽培活	どこまで見つけられるかな。学校の自然を
4	自然・環境	蛍の飼育活動	作戦Rでごみをへらせ
5	米作り	地域の歴史	調べよう自然のつながり、命あふれる生物
6	地域・歴史	地域の歴史	知ろう温暖化メカニズム、守ろう地球

学習公開・学習への参加、参画、地域への発

評価

〈評価規準のプロセス〉

①身に付けたい力に基づいた年間指導計画

②具体的な単元設定と子供の意識を見通した学習展開構想

③単元を通して培いたい力の設定

④具体的に育てたい力の評価規準の作成と評価方法を考えた評価計画

〈評価方法〉

- ・自己評価カード
- ・授業日記
- ・相互評価の場面の設定